

## 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティングin 平塚・大磯・二宮」実施結果

- 1 日時 令和8年1月21日(木) 14時～17時00分
- 2 場所 ひらつか市民活動センター 会議室A, B
- 3 参加者数 37名 (企業4社6名、NPO等18団体21名、教育機関1名、行政6名、オブザーバー3名)
- 4 概要

### (1) 事例発表

発表者：大磯古道山道つなげ隊

代表 オダギリ ミホ 氏

コロナ禍に大磯・平塚にまたがる山(高麗山)に登るようになったことを機に、ハイキングコース以外の荒れている道や複数の山道をつなげ、住民をはじめ多くの人が通行・散策できるようにする活動をご紹介いただきました。2021年4月「大磯丘陵里山歩きマップ」を作成・配布した後、東小磯～西小磯にかけて土中環境を改善して森を健全な状態にするという考え方に基づき山道をつくり、その後も山道整備を進めている過程で活動に共感する仲間が集まり、地域との連携が生まれていく様子をお話いただきました。

発表者：NPO法人だあれ

代表 橋本 由恵 氏

多世代交流型居場所づくりと自己実現による町づくりを3つの事業を柱としながら活動している様子をご紹介いただきました。放課後学習支援「だあれ寺子屋」「いっしょにごはんの会」「一箱本棚」等、誰かの“やってみたい！”をかたちにするお手伝いをする「だれんちプロジェクト」についてお話いただきました。今年度は二宮町こどもまんなか元年として行政との連携協働プロジェクト「にのみやこどもまんなかマップ」を作成、その取り組みの様子をご紹介いただきました。

発表者：NPO法人暮らし・つながる森里川海

代表 臼井 勝之 氏

平塚にある馬入水辺の楽校の運営を基軸に、生物多様性保全活動と環境教育活動の実践の様子をお話いただきました。60回以上開催した各種イベントや、会員主導の取り組み(バラフライガーデンづくり、馬入写真楽校等)をご紹介いただいた後、活動を始めて26年目を迎えて見えてきた運営体制・自然環境・環境教育の3つ側面からの課題点を挙げ、今後に向けて馬入水辺の楽校を地域の環境学習の拠点と情報発信基地に育てる“フィールドミュージアム化構想”をお話いただきました。

### (2) グループワーク

- ・各5～6名のグループに分かれ、グループファシリテーター進行のもと、事例発表を踏まえてディスカッションを行いました。
- ・グループのメンバーを入れ替えて35分×2回実施し、今後の活動や協働・連携に取り組むきっかけの場となりました。
- ・2回目のディスカッション終了後、事例紹介への感想やディスカッションで挙げた話題について各グループの代表者に発表していただき、全体で共有しました。

### (3) 交流タイム (自由参加)

事例発表者を交えてフリートークを実施。参加者との情報交換や連絡先の交換をし、参加者同士の交流を図りました。閉会後も活発に参加者同士でコミュニケーションする姿が見られました。

